

えりも町

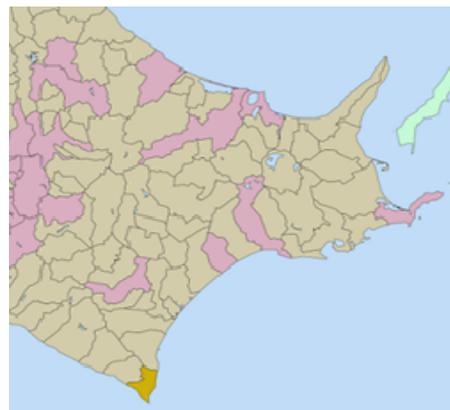
富岡 拓斗

1. えりも町の概要と地理

1.1 えりも町の由来と歴史

えりも町の“えりも”の由来は、アイヌ語の「エンルム（突き出た頭の意味）」が転訛したものと考えられている。えりも町は、北海道南端部、日高山脈の南端に位置する町で、1町で幌泉郡をなしている。最南端部には、北海道主部における最南端でもある「襟裳岬」がある。非常に風の強い地域で、最も風の強い襟裳岬では、風速 10m を超える日が年間 288 日ある。1669 年に幌泉場所は、松前藩士蠣崎蔵人の知行地として商場が置かれ、昆布の漁場として交易が盛んに行われた。その後 1880 年に戸長役場が設置され、行政の基礎が出来た。郷土愛に燃えた先人の英知とたゆまぬ努力によって築き上げられた現在のえりも町は、昆布、サケ、ウニなどの豊富な魚介類の水揚げが経済の主力を成しており、また、全国的に知られている「襟裳岬」や断崖絶壁の海岸が続く「黄金道路」など数多くの景勝地を有する観光地としても有名である。

図 1：えりも町の位置

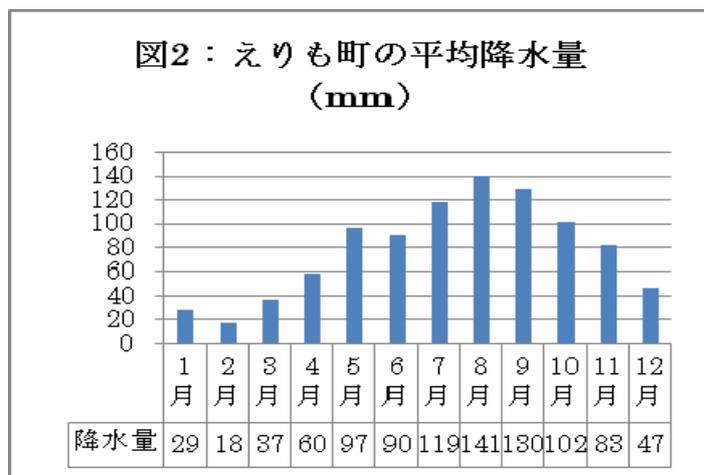


出典：『Wikipedia』

1.2 えりも町の地理

えりも町は、北海道主部における最南端部であり、東経 143 度 9 分 9 秒北緯 42 度 4 秒に位置している。夏は海岸性気候の影響を受けて涼しく、冬は北西の季節風を強く受けるが、気温は 10 度を降下することは稀であり、年平均気温は 7.3 度と温暖な気候である。降水量は図 2 が示すように、全国的に最も雪が多くなる 1 月、2 月に少なくなっているのが特徴である。北海

図 2：えりも町の平均降水量 (mm)

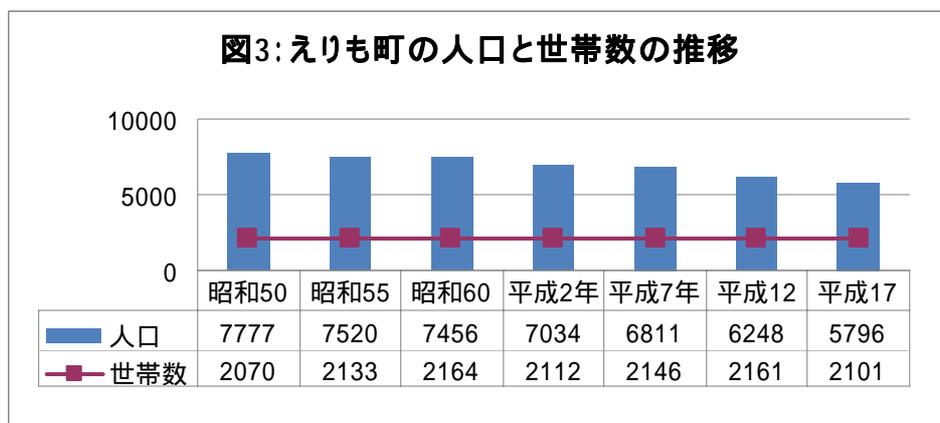


出典：気象庁 HP

道の中でも、えりも町は雪の少ない地域であり、冬もそれほど寒くないことから、非常に住みやすいまちであると思われる。

2. 人口・世帯数

2つの図より、いくつか気付く点があげられる。まず図2の人口の視点から見て、えりも町の人口は年々減少傾向にあり、昭和50年に比べ大幅に人口が減っていることがわかる。理由として考えられるのが過疎化であり、若者たちが札幌や旭川などの近場の都市部に移住してしまい、若い労働力が失われている現状にあると思われる。また図3より、えりも町は40代後半から59歳までの人口が顕著に多いことがわかる。しかし、若年者の人口は極めて多いとは言えず、また、高齢者の割合は全国平均的には多いといえる可能性があるが、40代後半から59歳まで以外の人口は似通っている。平成17年度の分布図でいえば、団塊の世代の人間である働き手が一番多く、そして高齢者の割合も多い。さらに、50代より若い世代が少ないえりも町では産業発展において厳しい状況であることがうかがえる。少子化の進行により20歳の人口がかなり落ち込んでいるが、幸いなことにえりも町は20歳以下の若年者が多いので、今後とも活気ある町づくりが期待できるのではないだろうか。

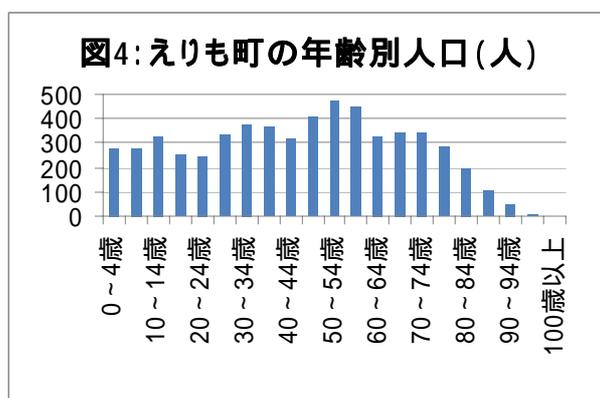


出典：各年国勢調査より

3. 産業

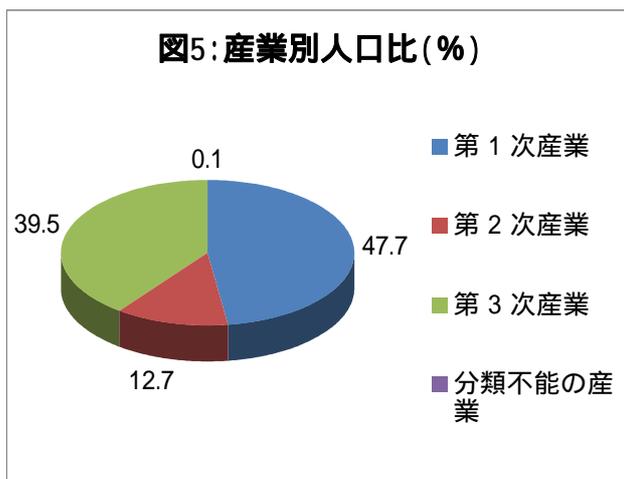
3.1 産業別人口

何度も言うように、えりも町の経済は漁業によって支えられている。図5を見てわかる通り、第1次産業就業人口の割合が最も多く、中でも漁業に就業している人口は94.7%と圧倒的に多い。一方農業や林業に関して言えば、



出典：平成17年度国勢調査

第 1 次産業就業人口に占める農業・林業就業人口の割合が合わせて 5.2%と、漁業頼みの偏った産業構成になっているといえる。豊かな水産資源に恵まれその地理的条件に合った産業が活発なのは良いのだが、今のえりも町の産業構成ではもしも漁業が何らかの原因で滞った場合に、経済に多大な影響が出ることが予想される。よって、農業や林業にも力を入れていくべきだと私は考える。特に林業に関して言うと、日高管内の面積の約 8 割が山林で占められていることから、もっと活性化できる産業だと思われる。



出典：農林水産省 HP 『市町村の姿』

3.2 漁業

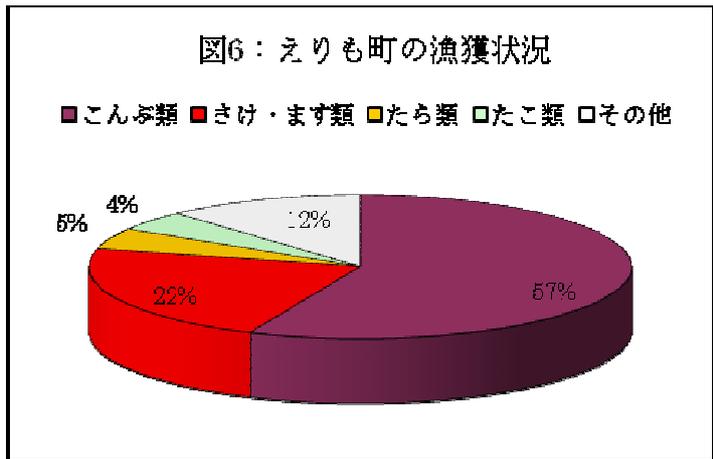
えりも町は漁業が主でその中でも中心的な役割を占めているのが昆布漁である。この地域の昆布は『日高昆布』として全国的に有名であり、多くは関西方面に出荷される。その水揚げは年間 10,000 トンにも昇り、昆布干しをする姿は、地域の夏の風物詩となっている。初夏から晩秋までえりも町の 3 分の 1 の世帯が昆布漁に携わっている。昆布以外でも、年間 5,000 トンを超える水揚げを誇るさけ・ます漁も行われている。さけ・ます漁の水揚げのほとんどが、9 月から 11 月まで続く定置網漁によるもので、まだ夜が明ける前から漁師たちは漁場へと向かう。大漁の秋さけを積んだ船が帰港すると、港はにわかに活気付き威勢のいい掛け声が飛び交う。

表 1:海面漁業の魚種別漁獲量(t)

合計		22627	上位 16 種	
	昆布類	12812	かじき類	70
	さけ・ます類	5062	なまこ類	41
	たら類	1071	うに類	27
	たこ類	1015	えい類	21
	ひらめ・かれい類	257	しいら類	7
	はたはた	138	まぐろ類	2
	うばがい(ほっき)	110	ぶり類	2
	さめ類	96	めぬけ類	1

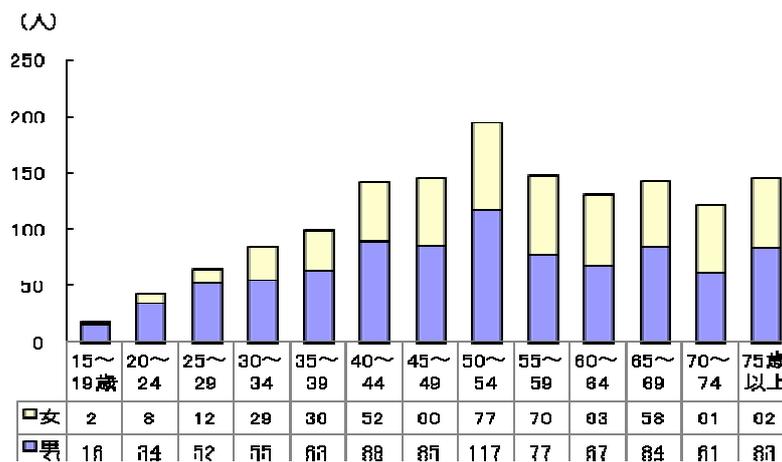
出典：農林水産省 HP 『市町村の姿』

しかし近年は、そんな漁業に従事する若者の数が減少し、漁業従事者が高齢化している傾向にある。実際、日本国内の現状として漁業従事者の高齢化、男子就業者では全体の約3割が65歳以上、そして25歳以下の若年就業者数は全体の3パーセントしかないことがあげられている。えりも町でも、図7からわかるように、50～54歳の就業者数が最も多く、年齢が若くなるにつれて就業者は少なくなっている。えりも町の今後の課題は、若年者層からどれだけ漁業従事者を輩出できるか、である。



出典：農林水産省 HP 『市町村の姿』

図7：性別・年齢別漁業就業者数



出典：農林水産省 HP 『市町村の姿』

4. 観光

4.1 観光入込客数

えりも町の主な3大イベントの入込客数はほぼ前年並み、襟裳岬への入込客数も大型バスの旅行者は増加となったが、原油高・悪天候の影響を受けた一般旅行者、マイクロバスの旅行者の減少が響き、通年の入込客数は減となった。3大イベントのえりもの灯台祭りは、8月14～16日の3日間、灯台公園を舞台に開催されるもので、夜空を彩る花火を見に、お盆の里帰り客や近隣町から毎年多くの見物人が訪れる。海と山の幸フェスティバルは、毎年10月の第1日曜日に開催され、えりもの味覚を思う存分楽しむことができる。このイベントの1番人気はサケのつかみ捕りで、孤軍奮闘してサケを捕まえる姿に大勢の観衆から笑い拍手が巻き起こる。

表 2：えりも町の観光入込客数

		平成 20 年度	平成 19 年度	増減 数	前年比 (%)
えりも町の観光入込客数(単位:千人)					
	総数	191.3	200.7	-9.4	95.3
	襟裳岬	167.9	177.1	-9.2	94.3
主なイベントの入込客数(単位:千人)					
	えりもの灯台祭り	11.1	11.1	0	100
	えりも海と山の幸 フェスティバル	5.2	5.2	0	100
	襟裳岬 初日の出	1.1	1.2	-0.1	91.7

出典：北海道日高支庁 HP

4.2 主な観光スポット

えりも町の中で代表的な観光スポットと言えば、「襟裳岬」と「黄金道路」である。襟裳岬は、北緯 41 度 55 分 28 秒、東経 143 度 14 分 57 秒に位置し、北海道の地形を大きく象徴する自然地形の一つである。日高山脈の南端部であり、沖合 7km まで岩礁が連なる。岬の周囲は高さ 60m に及ぶ断崖となっており、三段に及ぶ海岸段丘が発達している。岬の突端まで遊歩道が続いており、その眺望を一目見ようと毎年たくさんの観光客がこの地に訪れる。昭和 49 年に歌手森進一が『襟裳岬』を歌い大ヒットしたことで、その名は全国各地に広まった。

黄金道路は、国道 336 号線えりも町～広尾町にかけての約 33km の区間で、黄金を敷き詰められほど建設に莫大な費用を投じたことがその名の由来である。開通したのは昭和 9 年 11 月で、それまでこの区間は道路が全く無く人々は海岸線を歩いていた。しかし、断崖絶壁で波の静かな日も歩行に困難を要したために、当時の北海道庁が地元の要請を受

図 8：襟裳岬



出典：えりも町役場 HP

図 9：黄金道路



出典：えりも町役場 HP

ける形で工事を開始した。当時で約 95 万円ほど、現在だと 60 億円にも昇る費用と、約 7 年の長い年月をかけてつくられたが、荒天時の荒波などで通行止めが多く、またその度の道路改修で、予算もかなり必要な現状にある。さらに近年は、度重なる道路改修作業で長大トンネルや防護壁が多数できてしまい、以前のような光景が見られなくなってしまう可能性も出てきている。

参照ホームページ

えりも町役場 HP <http://www.town.erimo.hokkaido.jp/>

えりも町漁協 HP <http://www.jf-erimo.or.jp/>

北海道日高支庁 HP <http://www.hidaka.pref.hokkaido.lg.jp/index.html>

北の大地北海道道東ナビゲーター <http://www13.plala.or.jp/doutounavi/index.html>

農林水産省 HP 『市町村の姿』 <http://www.tdb.maff.go.jp/machimura/>

気象庁 HP www.jma.go.jp/jma/